

第3回 定時社員総会資料

平成24年5月29日 14:40～15:50

議 案

第1号議案 平成23年度事業および収支報告

第2号議案 平成24年度事業および収支計画

第3号議案 役員の改選

報 告

- (1) 各地区コンクリート診断士会平成23年度活動報告
と24年度活動計画
- (2) 会員数等報告
- (3) サステナビリティ委員会報告
- (4) その他

於：公益社団法人 日本コンクリート工学会会議室

JCD

一般社団法人日本コンクリート診断士会

第1号議案

平成23年度事業報告（案）

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

1. 第2回定時社員総会

平成23年6月14日 場所：（公社）日本コンクリート工学会 会議室 出席者64名
委任状出席者414名 合計議決権数 474名（議決権数688名）

2. 理事会（メールによる）

第2-1回 平成23年4月18日 今後の部会活動に関する意見を収集した。
第2-2回 平成23年7月8日 株式会社アスコの法人会員入会が承認された。
第2-3回 平成23年8月30日 サステナビリティ宣言委員会への参画が承認された。
第2-4回 平成23年9月28日 広島県診断士会の個人会員62名の入会が承認された。
第2-5回 平成23年9月30日 広島大学米倉亜洲夫名誉教授、広島工業大学十河茂幸教授の学会会員が承認された。
第2-6回 平成23年10月25日 サステナビリティフォーラムをJCIのWGとして活動することが承認された。
第2-7回 平成23年12月14日 サステナビリティ委員会・宣言WGの宣言文が承認された。
第2-8回 平成23年12月16日 貞升 孝昭氏の個人会員入会が承認された。
第2-9回 平成24年1月16日 収支改善計画等についてのご意見を収集した。

3. 幹事会

第2-1回 平成23年4月18日 第2回総会準備打合せ、診断士受験講座計画、パンフ作成について。
第2-2回 平成23年8月23日 法人会員の保有技術紹介、会員証、サステナビリティ委員会における分担金について。
第2-3回 平成24年1月16日 定時社員総会準備、個人会員証のグレードについて。
第2-4回 平成24年3月1日 定時社員総会準備について。

4. 現場見学会開催

東京診断士会と共催で、平成23年7月13日、東急東横線渋谷～代官山間地下化工事と高架橋コンクリートの経年劣化状況と補修についての見学会・検討会を実施した。（23年度計画通り）

5. コンクリート診断士受験対策講座開催

平成23年7月2日、3日に計画通り直前講座を実施し25人受講した。24年1月～3月までの3日間の計画であったがテキストの都合により、次年度5月12日、13日の二日間の実施となった。

6. 東日本大震災 被災状況調査

平成23年5月に3日間計画通り田沢理事が調査し、TCD技術セミナー等で報告した。

7. ホームページ充実

随時ホームページを更新，管理した。

計画していた法人会員の保有技術について，申請のあった法人会員の保有技術をホームページに掲載した。

8. 受託業務

計画では要請があれば対応するとしていたが，要請がなく実施しなかった。

9. 情報交換

計画では維持管理に関する発注に，コンクリート診断士資格者を配置することが条件となっている物件調査とその結果を地区診断士会へ情報提供するとしていたが，実施できなかった。

10. 広報活動

土木研究所構造物メンテナンスセンターに J C D について P R した。

完成したパンフレットを各地区診断士会，JCI 講習会の参加者等に配布した。

随時ホームページを更新，管理し，申請のあった法人会員の保有技術を掲載した。

11. 講師派遣

コンクリート診断士のこれからの役割を考えるフォーラム in 福井（平成 23 年 11 月 25 日）に小野副会長が診断士のモラルについて講演した。

12. 法人会員拡大計画

随時関係者に入会について案内をした。

東京で開催した J C I 診断士更新講習会でパンフレットと入会案内を配布した。

計画では A 会員 1 社，B 会員 5 社，C 会員 10 社入会としたが，実績は A 会員 1 社，B 会員 0 社 C 会員 3 社増に留まった。

13. 会員管理

法人会員，個人正会員，個人賛助会員の会員証を作成し配布した。

地区診断士会と連携し，個人会員名，連絡先等の確認を実施した。

(以上)

23年度収支決算(案)

収支	No.	項目	決算日	種別	数量	単位	単価	収入	支出	合計	備考	目標	3/31現在	目標との差	
収		前年度繰り越し			1	式	425,699	425,699		425,699					
	1.1	会費	法人会費			SA	0	社	100,000	0	1,596,500	1,906,694	0	0	0
						A	10	社	50,000	500,000			10	10	9
						B	9	社	30,000	270,000			14	9	9
						C	36	社	10,000	360,000			43	36	33
													750	860	703
	1.2	個人会費	個人会費		個人	860	人	500	430,000						110
						1	人	500	500						
						個人	12	人	3,000	36,000			10	13	2
	2	入会金	法人会費		法人	4	社	10,000	40,000		61,000		16		
			個人会費		個人	7	人	3,000	21,000				3		
	3.1	雑収入	受託業務			1	式		0		309,194				
	3.2		直前講座	8/26		1	式	250,000	250,000						
	3.3		講習会	11/25		1	式	40,000	40,000						
	3.4		受験講座	5/12-13		1	式	176,000							
	3.5		預り金			1	式	19,000	19,000						
3.6		受取利息						194							
										計				2,392,393	
支	4	運営費	事務費											1,128,252	
	4.1.1		事務局人件費	7/7	1	式	206,900		206,900					4~6月分	
			事務局人件費	9/28	1	式	137,100		137,100					7~9月分	
			事務局人件費	12/27	1	式	132,200		132,200					10~12月分	
			事務局人件費	3/27	1	式	149,000		149,000					1~3月分	
	4.1.2		事務所経費	8/25	5	月	30,000		150,000					4~8月分	
			事務所経費		4	月	30,000		120,000					9~12月分	
			事務所経費		3	月	30,000		90,000					1~3月分	
	4.1.3		資料作成費等		1	式	0		0						
	4.1.4		事務用品費		1	式	11,066		11,066						
	4.1.5		HP維持管理費	9/28		12	月	5,000		60,000				4~9月分:8/26,9/28	
	4.1.6		通信費		1	式	63,197		63,197					電話代、プロバイダー費含む	
	4.1.7		送料		1	式	4,920		4,920					宅急便	
	4.1.8		会員証作成費		1	式	1,000		0						
	4.1.9		振込手数料他		1	式	2,420		2,420						
	4.1.10		租税公課		1	式	0		0					印紙代他	
	4.1.11		その他		1	式	1,449		1,449					図書、ソフト(弥生会計ver up)他	
	4.2		総会費											46,633	
	4.2.1		特別講演費	6/14		1	式	33,333		33,333					
	4.2.2		資料印刷費	8/25		70	部	190		13,300					
	4.2.3		椅子他費用				式	15,000		0				TCDで支払	
			その他				式	5,000		0				TCDで支払	
	4.3		行事費											0	
	4.3.1		セミナー費			1	式	0		0				各地区と共催し、地区で負担	
	4.3.2		見学会費			1	式	0		0				各地区と共催し、地区で負担	
	4.4.1		宣伝広告費	パンフレット作成費	8/26	1	式	84,000		84,000	133,700			22年度追加分	
	4.4.2			印刷費	8/23	1	式	19,700		19,700					
	4.4.3			HPリニューアル費		1	式	30,000		30,000					
	4.5		部会活動費	講習会参加費		1	式	4,500		4,500	4,500			非破壊検査協会	
	4.6		役員活動交通費		7/28	1	式	6,800		6,800	25,220			事務局交通費、4~6月分	
			役員活動交通費		9/28	1	式	4,800		4,800				事務局交通費、7~9月分	
			役員活動交通費		12/27	1	式	4,800		4,800				事務局交通費、10~12月分	
		役員活動交通費		3/27	1	式	8,820		8,820				事務局交通費他、1~3月分		
4.7		地区の会補助費			24	人	2,500		60,000	60,000			法人会員分		
4.8.1		受託・講習会関	外注費		1	式	0		0	288,483					
4.8.2			直前講座分	8/26	1	式	248,483		248,483				資料印刷費他含む		
4.8.3			講師料他	11/28	1	式	40,000		40,000				フォーラムイン福井交通費		
4.8.4			受験講座分	5/12-13	1	式	0		0				24年度事業のため前受金として処理		
4.9.1		損金	法人所得税		1	式	100		100	70,100					
			法人都民税		1	式	20,000		20,000						
			事業税		1	式	0		0						
			法人市民税		1	式	50,000		50,000						
4.9.2		預り金	23年度分		1	式	19,000		19,000	19,000				高知県分、講習会費返却分	
5		予備費			1	式	616,505		616,505	616,505					
										2,392,393					
					合計			2,392,393	2,392,393	0					

事業利益	受託	0	税率	0.180	法人税:400万円以下の場合
	講師料他	0		0.123	国分寺市法人住民税(*法人税)
	受験講座講習	1,517		0.050	東京都法人都民税(*法人税)
	合計	1,517		0.027	東京都法人事業税

第2号議案

平成24年度事業計画（案）

企画部会

1. 第3回定時社員総会開催
平成24年5月29日（火） 場所：公益社団法人日本コンクリート工学会会議室
平成23年度事業報告・収支報告，平成24年度事業計画・収支計画，理事変更，各部会活動報告と今後の計画について。
2. 理事会開催
必要に応じてメールにより随時理事会を開催する。
3. 幹事会
必要に応じて随時開催する。
4. コンクリート診断士の倫理要綱作成
倫理要綱検討WG（仮称）を組織して，診断士の倫理要綱を作成するとともに成果を公表し，JCIに認知してもらう。
5. 各地区診断士会同士の交流促進
JCDと各地区診断士会との役割の明確化に関する意見集約
各地区で実施する見学会，技術セミナー等を他地区診断士会にも広く周知し，相互に参加しやすいように，JCDのホームページを通じて広報する。

技術部会

1. 技術情報の収集と会員への提供
重点的に実施する活動とし，技術部会内で技術情報収集などに関する，具体的な活動計画を検討し，実行する。
特に診断士の資格取得後の技術の研鑽や情報共有化対策，たとえば会員からの技術情報やトピックス等を募集し，全会員へ情報提供する仕組みの検討，行政，学会，JCIなどの主なトピックス，各地区で実施している取り組み，新聞記事等の情報を共有化するための検討をする。
2. 講師派遣
地区診断士会等からの講師派遣要請に対して，研修会・講演会等に講師を紹介や，適任者を選定し派遣する。
3. 受託業務対応
構造物の維持管理等の受託業務への対応は，受託の可否を含めて基本方針を検討するとともに，要請があった場合には基本方針に基づきリスク等を十分検討し，慎重に対応する。
4. 関連委員会等へ参加
サステナビリティ委員会に引き続き参加し情報共有と，当会としてできる範囲で実行できる支援を行う。
土木研究所構造物メンテナンスセンターのシーザー技術交流会へ参加し，情報の共有化に努める。

広報部会

1. 全国レベルでの広報活動
適切な媒体による広告掲載等の検討と実施。
2. ホームページの充実
地区診断士会活動紹介，技術情報，催し物情報，特に地区診断士会からの情報提供による情報等を掲載する。
法人会員各社の技術情報とリンクさせ，会員の便宜を図る。
3. 関連官公庁等へのPR
国土交通省，都道府県，高速道路各社，土木研究所等へ当会の紹介と診断士制度活用についてPRする。
以上，広報部会内で具体的な活動計画を検討し実行する。

会員担当

1. 空白地区の診断士会設立促進・支援
特に関西地区，東北，四国，九州地区の診断士会設立のために活動する。
会員担当が中心となり，企画，広報部会が連携し，具体的な活動計画を検討し実行する。
2. 個人会員，法人会員増に対する活動
診断士更新講習会等のチャンスを活用して入会へのPRを実施する。
コンクリート診断業務に関係の深い企業に対し，積極的に入会へのPRを実施する。
3. 会員証発行
今まで2年に1度発行としていた会員証を5年に1度発行に変更し，上質紙の会員証を希望する地区診断士会には追加料金を払うことにより対応する。
倫理要綱がとりまとめれば，次年度より会員証の裏に印刷し，これを携帯することにより，倫理意識の向上を図る。

事務局

1. 会長，副会長，理事会員間，各部会間，地区診断士会間の連絡調整
会長，副会長，各部会活動および各地区診断士会活動の連携強化の支援を行う。
2. 会員管理の充実
会員名簿等の会員情報の更新，会員証発行，地区診断士会との調整等確実かつ円滑に実施する。
3. 事務局業務の効率化
予算管理，税務署対応，ホームページ更新等年間の事務局業務を整理し，効率化と経費節減に努力する。
4. 部会・幹事会活動の支援
各部会・幹事会活動が円滑に推進できるように支援する。
5. その他業務
当会の目的を達成するための諸業務

(以上)

24年度収支計画(案)

収支	No.	項目	種別	数量	単位	単価	収入	支出	合計	23年度実績	備考	目標	現在	差	
収入		前年度繰り越し		1	式	616,505	616,505		616,505	425,699					
	1.1	会費	法人会員会費	SA	0	社	100,000	0	1,824,000	1,596,500		0	0	0	
				A	11	社	50,000	550,000				11	10	1	
				B	11	社	30,000	330,000				11	9	2	
				C	44	社	10,000	440,000				44	36	8	
			個人会員会費	法人分補正済み	個人会員	900	人	500	450,000			900	860	40	
					個人会員	18	人	3,000	54,000			18	13	5	
	2	入会金		法人	11	社	10,000	110,000		125,000	61,000				
				個人	5	人	3,000	15,000							
	3.1	雑収入	受託業務		1	式	0	0		503,600	309,194				
	3.2		直前講座		1	式	0	0						7月開催予定	
			講習会等		1	式	323,600	323,600						4月開催予定	
			講師派遣等		1	式	180,000	180,000							
	3.3		受取利息		1	式		0							
									計	3,069,105	2,392,393				
支出	4	運営費	事務費						1,504,000	1,128,252					
	4.1.1		事務局人件費	12	月	70,000		840,000							
	4.1.2		事務所経費	12	月	30,000		360,000							
	4.1.4		資料作成費等	1	式	30,000		30,000							
	4.1.5		事務用品費	12	月	3,000		36,000							
	4.1.6		HP維持管理費	12	月	5,000		60,000							
	4.1.7		通信費	12	月	5,000		60,000						電話代、プロバイダー費含む	
	4.1.8		送料	1	式	10,000		10,000						宅急便他	
	4.1.9		会員証作成費	900	枚	20		18,000						定期的発行は5年に1回	
	4.1.10		振込手数料他	1	式	5,000		5,000							
	4.1.11		租税公課	1	式	5,000		5,000						印紙代他	
	4.1.12		その他	1	式	80,000		80,000						定款更新、図書、ソフト他	
	4.2		総会費							54,000	46,633				
	4.2.1		特別講演費	1	式	40,000		40,000							
	4.2.2		資料印刷費	70	部	200		14,000							
	4.2.3		椅子他費用	1	式	0		0						TCDで負担	
			その他	1	式	0		0						TCDで負担	
	4.3		行事費							0	0				
	4.3.1		セミナー費	1	式	0		0						各地区と共催し、地区で負担	
	4.3.2		見学会費	1	式	0		0						各地区と共催し、地区で負担	
	4.4		宣伝広告費	1	式	50,000		50,000		50,000	133,700				
									0						
	4.5		部会活動費		3	部会	50,000		150,000	150,000	4,500				
	4.6		役員活動交通費	事務局交通費	12	月	5,000		60,000	169,000	25,220				
				役員活動交通費	1	式	100,000		100,000						
				委員会参加交通費	6	回	1,500		9,000						サスティナビリティ委員会
									0						
	4.7		地区の会補助費		50	人	2,500		125,000	125,000	60,000				法人会員分
	4.8.1		受託・講習会関	外注費	1	式	0		0	474,850	288,483				
	4.8.2			直前講座分	1	式	0		0						資料印刷費他含む
4.8.3			講習会	1	式	314,850		314,850							
4.8.4			講師派遣他	1	式	160,000		160,000							
4.9.1		損金	法人所得税	1	式	5,000		5,000	77,050	70,100				概算	
			法人都民税	1	式	20,250		20,250						概算	
			事業税	1	式	1,200		1,200						概算	
			法人市民税	1	式	50,600		50,600						概算	
4.9.2		預り金	23年度分	1	式	0		0	0	19,000					
5		予備費		1	式	465,205		465,205	465,205	616,505					
									3,069,105	2,392,393					
				合計				3,069,105	3,069,105	0					

事業利益	受託	0
	講習会	28,750
	合計	28,750

税率	0.180	法人税: 400万円以下の場合
	0.123	国分寺市法人住民税(*法人税)
	0.050	東京都法人都民税(*法人税)
	0.027	東京都法人事業税
	0.81	東京都所得割に係る法人特別税(*事業税)

第3号議案

役員の改選

理事・監事 候補

- | | | |
|---------------|--------|--------------------------|
| 1. 理事・会長 | 林 静雄 | : 東京工業大学 教授 |
| 2. 理事・副会長 | 小野 定 | : 東京コンクリート診断士会会長 |
| 3. 理事・副会長 | 佐藤 嘉昭 | : NPO 法人大分県コンクリート診断士会理事長 |
| 4. 理事・企画部会長 | 田澤 雄二郎 | : 東京コンクリート診断士会副会長 |
| 5. 理事・企画部会副会長 | 石川 裕夏 | : 福井県コンクリート診断士会会長 |
| 6. 理事・技術部会長 | 奥田 由法 | : 石川県コンクリート診断士会会長 |
| 7. 理事・技術部会副会長 | 有本 尚巳 | : 鳥取県コンクリート診断士会会長 |
| 8. 理事・広報部会長 | 奈良 裕 | : 青森県コンクリート診断士会会長 (担当変更) |
| 9. 理事・広報部会副会長 | 長谷川 光弘 | : 京滋コンクリート診断士会会長 (担当変更) |
| 10. 理事・会員担当 | 名倉 昭三 | : 静岡コンクリート診断士会会長 |
| 11. 理事・会計担当 | 井田 豊 | : 島根県コンクリート診断士会会長 |
| 12. 理事・会員担当 | 日堂 俊之 | : 長野県コンクリート診断士会会長 |
| 13. 理事・会員担当 | 原田 隆敏 | : 高知県コンクリート診断士会会長 (新任) |
| 14. 理事 会計担当 | 竹内 祥一 | : 東海コンクリート診断士会会長 (新任) |
| 15. 理事・事務局長 | 毎田 敏郎 | : 東京コンクリート診断士会役員 |
| 16. 監事 | 上原 泰正 | : 北海道コンクリート診断士会会長 |
| 17. 監事 | 伊藤 司郎 | : 新潟県コンクリート診断士会副会長 |

退任

- | | | |
|------------|-------|---------------------------------|
| 1. 理事・会員担当 | 秋友 一男 | : 元高知県コンクリート診断士会会長
(会長交代による) |
|------------|-------|---------------------------------|

(以上)

報告(1)

各地区コンクリート診断士会活動報告と計画

2012.5.29

NO	会の名称	設立年月日	平成23年度活動報告	平成24年度活動計画
1	北海道コンクリート診断士会	H21.1.30	①第3回通常総会 (H23.2.1)、②特別講演 (H23.2.1)、③診断士普及講習会 (H23.3.31)、④第1回コンクリート診断士会 (H23.6.10)、⑤第2回コンクリート診断士会 (H23.7.30)、⑥現場研修会 (H23.10.18)、⑦第3回コンクリート診断士会 (H23.11.25)、⑧役員会 (H23.5.13、H24.1.20)、⑨技術部会 (H23.7.6、9.9)、⑩広報活動 (入会促進活動、講師派遣) H23.5.31 総会兼勉強会開催 (収支決算承認・役員改選・活動計画承認) H23.6.11 青森県コンクリート診断士会 HP開設 H23.10.14 JCI東北支部主催「第7回コンクリート診断士の技術研鑽のための勉強会」の開催手伝い	①第4回通常総会、②コンクリート診断士会3回、③講演会1回、④診断士普及講習会1回、⑤現場研修会1回、⑥役員会、⑦技術部会、⑧広報活動
2	青森県コンクリート診断士会	H18.9	H23.5.31 総会兼勉強会開催 (収支決算承認・役員改選・活動計画承認) H23.6.11 青森県コンクリート診断士会 HP開設 H23.10.14 JCI東北支部主催「第7回コンクリート診断士の技術研鑽のための勉強会」の開催手伝い	・勉強会開催 (2回/年) ・日本コンクリート診断士会との連携強化 ・JCI東北支部との連携強化 ・八工大「青い森の橋ネットワーク (仮称)」への参加協力
3	新潟県コンクリート診断士会	H20.10.31	H23.07.07 通常総会 H23.09 北陸3県診断士会連携事業参加 H23.12.01 第1回技術セミナー開催 (新潟:コンクリート構造物の長寿命化の課題) H24.02.22 第2回技術セミナー開催 (柏崎:コンクリート構造物の調査・補修方法)	通常総会 (7月開催予定) 技術セミナー開催 (10月・12月・2月開催予定) コンクリート構造物の維持管理に関わる講習会への講師派遣
4	長野県コンクリート診断士会	H22.8.21	・研修会開催 (1回:通常総会の記念講演)・各団体の協賛研修会 (JCI関東支部長野地区11/5)・ホームベージュ開設・各団体との連携 (長野:コンクリート診断士会、ながのコンクリート診断士会)	・研修会開催 (総会の記念講演)・各団体の協賛研修会 (例:JCI関東支部長野地区)・ホームベージュ運営・日本コンクリート診断士会および各地診断士会との連携・各団体との連携 (長野:コンクリート診断士会、ながのコンクリート診断士会)
5	東京コンクリート診断士会	H17.11.11	①第7回総会 (H23.6.14) 出席者81名 (委任状含む) ②JCDと共催でコンクリート診断士受検対策講座 (平成23年1月～3月) ③技術セミナー2回 (H23.10.13、H24.3.1) ④東工大との共同研究	①第8回総会 (5月29日) ②現場見学会 (7月) ③第13,14回技術セミナー ④コンクリート診断士受検対策講座 (JCDと共催) ⑤役員会 (随時) ⑥東工大との共同研究
6	石川県コンクリート診断士会	H18.6	■23年6月30日:総会、講演会 (金沢工大・木村定雄教授) ■23年8月26日:コンクリート構造物の調査・診断技術の向上に関するフォーラムin金沢 ■23年9月21日:技術セミナー (特殊機械のデモンストラーション) ■24年3月16日:技術セミナー (事例発表会)	■24年6月:総会、講演会,9月:現場見学会,11月:技術セミナー (机上)・25年3月:技術セミナー (事例発表会),他 ■石川県コンクリート研修講師派遣
7	福井県コンクリート診断士会	H16.3.26	・研修会 9回の開催 (北陸三県合同フォーラム2回、現場見学会3回、座学形式のセミナー4回) ・橋梁長寿命化修繕計画策定委員会への委員派遣 (大野市、若狭町、美浜町の3委員会) ・福井県内の県庁自治体職員向け研修会への協力、講師の派遣 ・土木学会中部支部所轄の委員会への委員の派遣 ・橋の老朽化対策研究会との協働 (セミナーの共催) ・コンクリート診断士受検対策セミナーの後援、講師の派遣 ・フクイ建設技術フェアへのブースの出展	・研修会の開催 ・京滋コンクリート診断士会との合同研修会の開催 ・橋梁長寿命化修繕計画策定委員会への委員派遣 (小浜市、勝山市、あわら市、越前市、越前町、おおい町の6委員会) ・福井県への技術協力 (火害対応マニュアルに対する助言) ・福井県内の県庁自治体職員向け研修会への協力、講師の派遣 ・土木学会中部支部所轄の委員会への委員の派遣 ・コンクリート診断士受検対策セミナーの後援、講師の派遣 ・フクイ建設技術フェアへのブースの出展
8	静岡コンクリート診断士会	H18.12	6月10日総会・技術研修会 総数140名出席 (会員40名、県市100名) 11月25日技術研修会 会員のみ30名 6月14日静岡県技術研修会へ講師派遣 2名 6月24日静岡県農林技術者研修会へ講師派遣 4名 診断士会ヘルメット用フック作成 県よりコンクリート構造物診断・調査依頼	6月8日総会・技術研修会 秋技術研修会 県技術研修会 秋技術研修会 秋技術研修会 秋技術研修会 技術者研修会へ講師派遣 農林事務所より講師派遣依頼 土受検講座開催 (JCI)
9	東海コンクリート診断士会	H22.6.18	H23.5.27第1回東海コンクリート診断士会通常総会 H23.7.29第1回東海コンクリート診断士会研修会 H23.12.21幹事会 H24.3.16幹事会	H24.5.25第2回東海コンクリート診断士会通常総会 (名古屋大学 国枝先生講演) H24.7第2回東海コンクリート診断士会研修会 (仮:名古屋大学エフレッツ研修) H24.10第3回東海コンクリート診断士会研修会 (仮:岐阜大学MEの取り組み等) H24.12幹事会 H25.3幹事会
10	京滋コンクリート診断士会	H20.8.22	本会の会計年度は2011.10.1～2012.9.30までのため完了報告は出来ません。今期は研修会2回、現地見学会2回を計画し、内、研修会1回を完了した。	先により未定
11	鳥取県コンクリート診断士会	H17.5.25	・第6回通常総会 ・技術交流会 (意見交換会) (コンクリート診断士と診断技術に関するセミナー)・広報活動 (各県土整備局、国交省) ・セミナー後援 (「コンクリート診断士と診断技術に関するセミナー」)・検討会への委員派遣 (「鳥取県農業水利施設長寿命化計画検討会」)・現場見学会	・技術講習会、現場見学会の開催 ・県との意見交換会 (診断士の活用に関する要望等) ・広報活動 (HP、新聞広告、パンフレット配布等) ・各種検討会への委員派遣 ・他の組織との連携 (県技士会、JCD、他県診断士会等)

12	鳥根県コンクリート診断士会	H17. 6. 18	<p>6/10 コンクリート診断士試験受験準備講習会/広島県測量設計業協会 6/11 総会及び研究会発表会/特別講演「岩石鉱物の基礎知識とASRについて」鳥根大学・松本準教授 他講演及び研修会 7/23 藤沢BOXカーポート見学会/重磯酸リチウム低圧注入工法見学 9/15 土木技術講習会/(財)鳥根県建設技術センター(現場実習)「コンクリートの劣化診断と補修技術」 10/22-23 高府神社他見学会/高府神社補修経緯ヒアック、川戸橋修繕工事、浜田第2ダム建設工事見学 2/25 新春例会/特別講演「すぐに役立つセメント系補修・補強材料の基礎知識」セメント協会他 その他研究発表*</p>	<p>*4月下旬～ 出雲本社庁舎(ちよのや)耐久性診断業務 6/22 コンクリート診断士試験受験準備講習会/広島県測量設計業協会 6/23 総会及び研究会発表会/特別講演他研究発表 7月 見学会(場所未定) 9月初旬 土木学会全国大会発表/藤沢BOXカーポートの変状調査 9/15 土木技術講習会/(財)鳥根県建設技術センター(現場実習)「コンクリートの劣化診断と補修技術」 10月 見学会(場所未定) 11月 技術研修会(内容未定)/鳥取県コンクリート診断士会との共催 2月 新春例会 基調講演他 (内容未定)*</p>
13	広島県コンクリート診断士会	H23. 7. 17	<p>1) 研修会：隔月第2水曜日に定例サロンを4回実施 第1回損傷事例報告、第2回震災かかれき処理対策 第3回診断書作成事例研究 第4回生コン関連基準の改定と技術開発 2) 現地調査・見学会：H24. 4. 26 『ASR・塩害の複合劣化の調査・診断検討会』(広島ガス(株)港湾湾棧橋)</p>	<p>1) 第2回総会：H24. 7. 11 広島工業大学広島校舎 2) 定例サロン：5月より隔月第2水曜日 計5回 各種新技術紹介等 3) 現地調査・見学会：広島ガス(株)港湾湾棧橋の補修工事を予定</p>
14	高知県コンクリート診断士会	H20. 8. 1	<p>1) 通常総会の開催 18名(2011. 6. 18) 2) (社)日本コンクリート診断士会総会出席(2011. 6. 14) 3) 第2回コンクリート技術講習会「コンクリートの品質向上ならびに劣化補修と南海地震への備え」(2011. 9. 2 参加者105名) 4) 第5回コンクリート甲子園へ後援参加(2011. 12. 3) 5) 東京コンクリート診断士会「第12回技術セミナー討論会」への参加(2012. 3. 1) 役員会開催</p>	<p>1) 通常総会の開催(2012. 6. 16) 2) 第3回コンクリート技術講習会の開催「コンクリートひび割れ抑制対策と下水道処理施設における劣化のモニタリングと現状」(2010. 8. 31 予定) 3) (社)日本コンクリート診断士会総会出席</p>
15	NPO法人 大分県コンクリート診断士会	H18. 8. 16	<p>総会：H23. 6 技術講演会：H23. 6 (会員用) 参加42名 H23. 9 (一般公開) 参加257名 受験対策講座：H23. 5～H23. 7 受講10名 見学会：H23. 10 明治橋等3箇所 参加40名 調査診断：報告書4件 会員交流会：3回</p>	<p>総会：H24. 6 技術講演会：H24. 6 (会員用) H22. 10 (一般公開) 受験対策講座 H24. 5～H24. 7 見学会：H22. 9 講師派遣：2件程度 調査診断：5件程度 会員交流会：4回程度</p>

会員数の推移

2012/5/15

会員数一覧

2010.11.15現在

No.	名称	学術	正(法)	費(法)	正	賛助	合計
1	福井県コンクリート診断士会				64	2	66
2	鳥取県コンクリート診断士会				23	0	23
3	島根県コンクリート診断士会				42	0	42
4	東京コンクリート診断士会	2		136	136	5	143
5	石川県コンクリート診断士会				59	3	62
6	NPO法人 大分県コンクリート診断士会				50	0	50
7	青森県コンクリート診断士会				24	0	24
8	静岡コンクリート診断士会				34	0	34
9	京滋コンクリート診断士会				13	1	14
10	高知県コンクリート診断士会				21	0	21
11	新潟県コンクリート診断士会				76	5	81
12	長野県コンクリート診断士会				28	19	47
13	北海道コンクリート診断士会				67	10	77
14	東海コンクリート診断士会				12	1	13
15	直接入会会員				5	1	6
	合計	2			654	47	703

2011.2.15現在

学術	正(法)	費(法)	正	賛助	合計	増減
			64	2	66	0
2			23	0	23	0
1			45	0	46	3
2	5	4	136	5	152	0
			59	3	62	0
1			50	0	51	0
2			25	0	27	1
			34	0	34	0
		1	13	1	15	0
2			21	0	23	0
2			76	5	83	0
2		2	28	19	52	0
		4	71	10	86	4
			2	1	15	0
			5	1	6	0
14	12	8	662	47	743	

正+賛助会員
法人分除く

内2名地区から登録

2012/3/31 現在

11.2.15からの

No.	名称	学術	正(法)	費(法)	正	賛助	合計	増減
1	福井県コンクリート診断士会	0			72	3	75	9
2	鳥取県コンクリート診断士会	2			22	0	24	-1
3	島根県コンクリート診断士会	1			57	0	58	12
4	東京コンクリート診断士会	2	10	4	147	3	166	9
5	石川県コンクリート診断士会	0			59	3	62	0
6	NPO法人 大分県コンクリート診断士会	1	1	0	50	0	52	0
7	青森県コンクリート診断士会	2	1	0	29	0	32	4
8	静岡コンクリート診断士会	0			42	0	42	8
9	京滋コンクリート診断士会	0	1	0	14	1	16	1
10	高知県コンクリート診断士会	2			25	0	27	4
11	新潟県コンクリート診断士会	2			80	5	87	4
12	長野県コンクリート診断士会	2	2	1	30	18	53	1
13	北海道コンクリート診断士会	0	3	1	87	11	102	17
14	東海コンクリート診断士会	0	0	2	35	6	43	28
15	広島県コンクリート診断士会	2	0	0	62	0	64	62
16	直接入会会員				12	1	13	7
	合計	16	18	8	823	51	916	

学+正+賛助会員

地区から登録 861
議決権数 857

No.	法人会員R	会員数	法人登録会員
			正会員
1	ランクSA	0	賛助
2	ランクA	10	6
3	ランクB	9	5
4	ランクC	36	7
	合計	55	18
			26名

報告 (3)

平成 23 年度サステナビリティ委員会・宣言 WG 報告

1. 参加団体

本宣言WGに参加している団体は、コンクリート用化学混和剤協会、社団法人セメント協会、一般社団法人全国コンクリート製品協会、鉄鋼スラグ協会、公益社団法人日本コンクリート工学会、一般社団法人日本コンクリート診断士会、日本フライアッシュ協会である。

2. 趣旨

21 世紀は、大量生産・消費といった価値観を大きく転換し、持続的な社会・経済活動への変換が求められた。コンクリートの利用も、価値転換の例外ではあり得ず、コンクリート関連セクターは、さらなる革新的技術開発に挑戦し、地球環境保持と人類の持続的発展に一層貢献することが強く求められる。これらの社会的要請に応えることが、コンクリートに関わる者の責務である。

3. 23年度活動実績

23 年度サステナビリティ委員会・宣言 WG 開催状況

No.	開催日	討議内容
5	23.4.19	・宣言の背景文第 4 次案の討議 ・宣言の本文・解説第 4 次案の討議
6	23.5.24	・宣言の解説第 4 次案の討議
7	23.6.28	・宣言の前文・宣言文・解説文の最終案の討議 ・宣言 WG の運営方法、活動について討議
8	23.8.19	・宣言文最終案に対する意見について討議 ・HP について討議 ・フォーラムの定款について討議
9	23.11.3	・宣言文の最終修正案について討議 ・HP 案について討議 ・フォーラムについて討議
10	23.12.9	・宣言、フォーラムの設置のコンクリート工学会理事会への提案について討議 ・宣言に対する理事（コンクリート工学会）からの意見等について討議 ・宣言文の修正について討議 ・HP 案について討議
11	24.2.9	・コンクリート工学会理事会、技術委員会での審議結果について ・宣言文の最終確認 ・宣言の発表予定と内容について討議 ・サステナビリティフォーラムについて討議
	24.4.24	・宣言の記者発表

サステナビリティ委員会・宣言の骨子は次のとおりである。なお、前文は省略。

- (1) 社会のサステナビリティを実現するために、安全なコンクリート構造物の実現を図る。
- (2) コンクリート関連セクターにおける資源消費とCO2 排出の低減に向けた努力を続ける。
- (3) コンクリート関連セクターとして、資源循環に大きく貢献する。
- (4) コンクリートに関連する資源採取や構造物の建設において生物環境や地域環境の保全・向上に努力する。
- (5) コンクリートに関連するステークホルダーとの建設的なコミュニケーションにより、良質な社会基盤整備を図る。
- (6) 社会基盤施設の長寿命化に今後必要な技術及びシステムの開発を行い、その利用に向けた提案を積極的に行う。
- (7) サステナブル技術の積極的な国際展開により、環境問題解決に向けた貢献をする。
- (8) 社会の持続可能な発展を支えるために、コンクリート関連セクターに関わる人材の育成と技術の継承を図る。

以上（文責：木村）